

あなたと未来を築く。

医療法人静和会

浅井病院



「生きたい」 と思ってもらえる、その瞬間に。

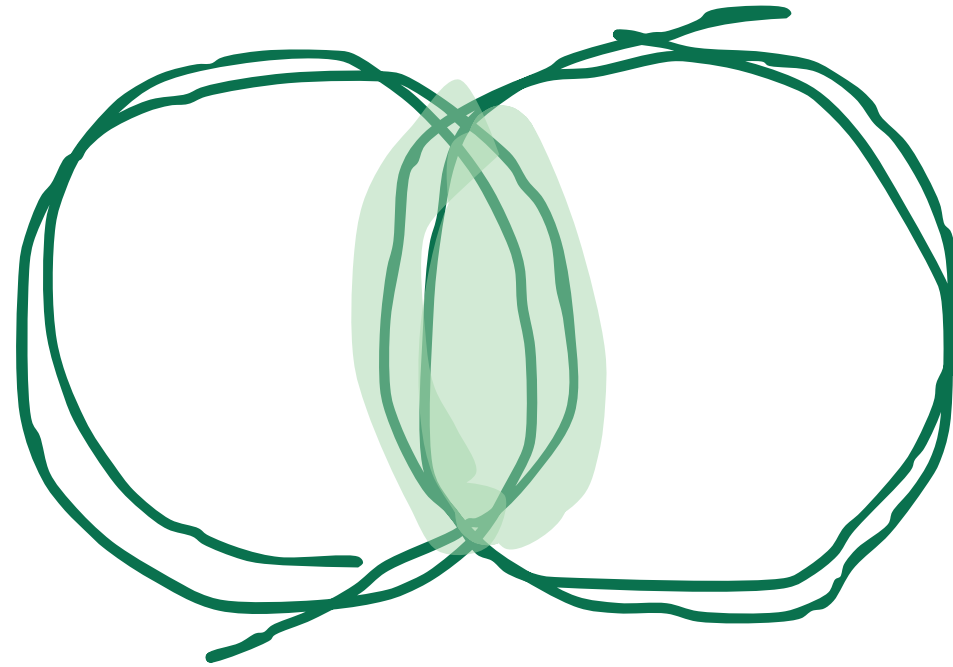
「退院する間際に長文でお手紙をいただいたんですが、私の関わり方を覚えてくださっていて、『入院の時は前向きになれなかったけど、退院したら楽しいことをしてみたいとおもえるようになりました。ありがとう。』と書いてあったんです。やってて良かったな、と本当に感じました。」

看護師（新卒7年目）

私たちは持てる力を発揮して、地域の人々の健康・幸福の実現に尽くします。

Message

私たちの看護の原点、「人となりを知る」ということ。



人となりを知るための繋がる看護

1. 「患者様の病気」にとどまらず、「病を抱えた人」としての理解を深める
2. 患者様のあるべき姿を意識した看護を行う
3. チームとして、患者様への最適な看護を引き出す
4. 患者様に合った専門的知識を看護に活かす
5. 現状にとどまらず、自己研鑽し続けることで、看護師として成長していく

地域と共に歩む、浅井ヘルスケアグループの全体像



浅井病院
精神科・内科医療の中核



あさいケアセンター
介護老人保健施設



新検見川メンタルクリニック
都市部のメンタルケア拠点



地域包括支援センター
地域の相談窓口



障害福祉部
多機能型就労支援事業所
地域支援センター



ゆりの木苑
特別養護老人ホーム



病院理念

チーム医療で、健康・幸福を創造する優しい病院

私たちは地域の人々の健康と幸福の実現に尽くすことを理念としています。



浅井病院の概要

名称	医療医療法人静和会 浅井病院
開設日	1946年（昭和21年）10月1日医院開設 1959年（昭和34年）10月9日病院開設
所在地	〒283-8650 千葉県東金市家徳38番地1
理事長	浅井 禎之
院長	秀野 武彦
診療科目	精神科、内科、消化器内科、整形外科、脳神経外科、 リハビリテーション科、泌尿器科、歯科
許可病床数	387床（精神科300床、内科87床）



医療法人静和会理事長
浅井 禎之

ここでしか得られない、専門性と経験。



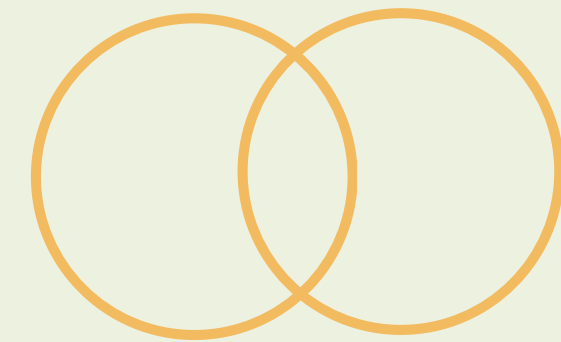
精神科救急の最前線

千葉県内唯一の精神科救急2単位
としての機能を有し、多様な急性
期症例に対応



認知症疾患医療センター

地域の認知症医療における中
核的役割を担い、専門性の高
いケアを提供。



複雑な身体合併症への対応

精神疾患と身体疾患を併せ持
つ患者さんが多く、一般病院
とは異なる複合的医療を実
践。

表面的な関わりではなく、「人の奥底に流れるものを知る」ための
フィールドがここにあります。

看護部について

看護部理念

「人となりを知るためのつながる看護」



看護部長 齋藤 直美

当院の看護部の理念は「人となりを知るための繋がる看護」です。

「人となり」とは、その人に生まれつき備わっている性質や人柄の事を指し、生まれ持った性質のみならず、現時点での人物像を指して使われることもあります。

私たちは、患者様の病気そのものにとらわれるのではなく、その人本来の人柄に目を向け、性格や生活背景など、その人自身を知ることが精神科看護として重要なのだと日々感じています。ぜひ私たちと一緒に、その人の本来を取り戻すための看護をしませんか？



A-1病棟

精神科 救急病棟 60床(うち隔離室8床、PICU4床)

A-2病棟

精神科 救急病棟 36床(うち隔離室10床、PICU9床)

A-3病棟

精神科 亜急性期治療病棟 60床(うち隔離室5床、PICU3床)

A-4病棟

精神科 療養病棟 60床

B-2病棟

内科 地域包括ケア病棟 51床

D病棟

内科 療養病棟 36床

E-1病棟

精神科 高齢者療養病棟 42床(うちPICU1床)

E-2病棟

精神科 生活介護療養病棟 42床

外来部門

外来、健診センター、内視鏡センター

急性期から、療養、そして地域包括ケアまで。
多様な病棟で経験を積み、専門性を深めることができます。

不安を、自身に変える、段階的な教育サポート体制。

Service

1 シャドーイング (Shadowing)

配属後、まずとにかく先輩職員
の後ろを影のようについて
いき、業務全体の流れを把握
します。



2 実践と振り返り (Practice & Review)

あなたのペースに合わせて、実
践に入ります。もちろん先輩に
聞きながら。振り返りをしなが
ら一つひとつ着実に業務を身に
つけていきます。



3 チームでの成長 (Team Growth)

自分で業務の流れを追えるよ
うになったら、その後もチー
ムの一員として、常に先輩に
頼り、アドバイスをもらいな
がら成長できます。



「精神科」だからこそ。



はんてん木祭り

毎年5月に行われている、浅井病院のお祭りです。精神科病院と地域の皆さんとの交流の機会となっています。患者さんも地域の皆さんもとても楽しみにしてくださっており、昨年は5年ぶりの開催で約3,210人の方々が訪れました。

千葉日報にも掲載されました！



千葉日報

2024年(令和6年)5月26日(日曜日)



NEWS ZEROで当院が紹介されました！ 日本テレビ系列「あの戦争を知る2017」

第二次世界大戦中、陸軍に従軍中に精神疾患を発症した将兵のカルテを、終戦とともに資料の焼却命令が出ましたが、浅井利勇氏をはじめとする国府台陸軍病院の軍医たちは、貴重な資料を焼却するには忍びないとして、病床日誌(カルテ)をドラム缶に詰めて病院の院庭に埋め、隠しました。昭和26(1951)年、病床日誌は掘り出され、15年かけて整理分析し、平成5(1993)年に「うずもれた大戦の犠牲者―国府台陸軍病院・神科の貴重な病歴分析と資料―」を自费出版しました。このような経緯が今年2月19日に東京新聞、中日新聞に掲載され、「NEWS ZERO」の中で奇跡的に御自身の祖父のカルテを手にした水野昭彦さんとお母様のインタビューが紹介されたほか、**私(理事長：浅井 稯之)も当院で保管を続けている病床日誌の複写について、櫻井翔キャスターからインタビューを受けました。**

2025年は戦後80年。NHKやTBSやフジテレビその他多くの取材依頼を受けました。



DPAT「災害派遣精神医療チーム」

DPATとは、Disaster Psychiatric Assistance Teamの略で、災害派遣精神医療チームの事です。自然災害や、犯罪事件、航空機列車事故等の集団災害が発生した場合には、精神的な不調をきたしやすく精神保健医療の需要が増加します。しかし、被災地においては精神保健医療機能が低下する事もあり、そこにおいて精神保健医療ニーズの把握、他の保健医療体制との連携、各種関係機関とのマネジメント、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援が必要であり、この活動を行うため都道府県等によって組織される災害派遣精神医療チームがDPATです。

他にも浅井病院で働くと・・・



院内保育所があって安心して
働ける環境！（保育士13名）



社員食堂でおいしいランチ♪
社食補助もあり！！



院内のコンビニは職員証で
10%OFFで購入可能！



九十九里浜まで車で10分！
出勤前に海に入ってくる職員も…



20分500円！
職員限定マッサージ



職員寮もあります



サッカー部に野球部、バレー部、
ソフトボール部、弓道部、サーフ
ィンクラブ活動も盛んです！



無料送迎バスも走っています

浅井病院で働く先輩たちの声

Profile 1:

看護師（新卒7年目）

「患者さんが回復していく過程を見られる急性期で、今は関わりたいですね。急性期病棟でも、ナースステーションが「仕事、仕事」という雰囲気だと患者さんにもピリピリした感じが伝わるし、職員も連携しづらくなります。浅井病院には取っ付きにくい師長もいないし、精神科で上に立つのは、そういう人なのでしょうね。」

Profile 4:

看護師（新卒7年目）

死にたいと思っていたのに、生きたいと思ってくれる。そして、より良い未来があると思ってもらいたいし、そんな未来を考える場を提供したい。そのために、自分自身もいろいろな場面で、まだまだ学ばなければならないです。

Profile 3:

看護師（病棟主任）

浅井病院の働きやすいポイントはまず、残業が少ないこと（笑）。そして、医師とのコミュニケーションがとりやすい。

Profile 2:

看護師（病棟教育担当）

後輩と一緒に学んでいく姿勢で教育を担当しています。私が「教育体制がしっかりしている」と聞いて入職したので、今後も同じように思われるよう頑張らないと。私は新卒を担当することが多いのですが、私自身も完璧ではないし、後輩と一緒に学んで行こうという姿勢を持つようにしています。

Message



医療法人 静和会

浅井病院

さあ、浅井病院で

私たちと一緒に新しい未来を築きませんか。